

平成25年3月町議会定例会一般質問通告概要

※ 質問順番

1番	村田 昭	議員	5番	窪田一誠	議員
2番	佐藤康弘	議員	6番	町田信子	議員
3番	後藤智文	議員	7番	伊東幸一	議員
4番	米田俊信	議員			

1番 村田 昭 議員

1 町長の意気込みについて

- (1) 新年度は2期目の最終年度でまとめの年。町長の意気込み、目標を問う。
- (2) 広報公聴活動が大切。町政懇談会など、町民の声を聴取する機会を設け、町政に反映してほしい。

2 平成25年度予算について

平成25年度予算編成の基本姿勢、柱の事業、町民に何を訴えるのか問う。

3 今後の公共施設等の整備について

- (1) 老朽化が著しいものや規模拡大が必要な大型の健康スポーツ施設等の、今後の整備方針、計画について問う。
- (2) 緊急時の避難施設でもある公民館等の状態はどのようなか。また、日頃の点検管理の対応はどうか。

4 町有遊休資産の再利用の状況について

旧保健センター等、これまで売却された主な資産が、その後どのような活用状況にあるのか問う。町の発展に貢献する活用が望ましいと考えるが。

5 教育関係について

- (1) 教育における指導と体罰について、どのように考えるのか問う。
- (2) 町教育委員会としてクラブ活動指導について、どのような方針で臨み、顧問教諭の人事等の対応はどのようなか。
- (3) インフルエンザで全県的な学級閉鎖を聞くが、学校等の保健指導等に万全を期せ。

6 空き家調査と今後の取り組みについて

- (1) 町中心部でも空き家が散見される。調査結果と今後の対応について問う。
- (2) 高齢者居住住宅で家屋が破損したまま放置されているケースも見られる。実態把握を行い、支援方を検討すべきではないか。

7 アルペンルート100万人突破に向けて

- (1) 新年度は町制60周年、黒部ダム50周年等の記念年であり、連携を図り相乗効果の上がる記念事業を展開し、全国にも情報発信すべき。どのように取り組むのか。
- (2) 香港の観光客誘致活動の手ごたえはどのようであったか。
- (3) 100万人突破に向けて、あらゆる方策を町、関係団体あげて取り組むことが重要である。具体的な計画を含め町長の考えを問う。

2番 佐藤康弘 議員

1 投票率向上、期日前投票における立会者の負担軽減について

参議院議員選挙の投票率向上のため、特に若者の投票参加を促すべきではないか。また、期日前投票における立会者の負担軽減などの改善が図れないか。

2 今後の財政運営について

将来負担比率が比較的高いが、現在は健全な財政状況にある。今後大型事業による起債借り入れも予定されており、中長期的にどのような財政運営を目指すのか問う。

3 立山町消防の強化拡充について

単独消防ならではのきめの細かい活動を展開すべき。無線デジタル化に向けての機器整備、庁舎改修のほか職員研修、職員体制の拡充が必要。総合的な立山町消防力の強化に向けどのように取り組むのか。内容、スケジュール等について問う。

4 災害廃棄物の本格焼却について

今後、本格焼却に向け、どのように進めることになるのか問う。

5 地鉄立山線の活性化策について

立山線周辺を娯楽性の高いテーマパークとするなどの構想を検討してはどうか。たとえば、立山線の終点を横江駅にして、立山駅までトロッコ列車等の観光電車に乗り換え運行。また、横江周辺耕作放棄地を平地のバスターミナルにしてはどうか。

6 立山駅前駐車場の利便性の向上について

最盛期の混雑緩和のため、駐車場の拡充や有料化に取り組めばどうか。

7 (株)たてやまの経営実績について

農家民泊事業など新規事業が話題になっている。発足してまもなく最初の決算期となるが、事業実績、経営実績について問う。

8 国民健康保険の運営の実態について

国保の運営は厳しく、市町村単独では維持が難しくなっている。制度維持のためには、保険料引き上げも避けられないと考えるがどうか。

3番 後藤智文 議員

1 予算編成の基本方針と予算について

- (1) 基本方針の中で「まち力」を5点目の視点として重視と言われたが、「まち力」とは具体的にどういうことか。
- (2) 事業所数と従業員数は大きく落ち込んでいる実態がある。
 - ① この実態をどのように考えるか。
 - ② 何か対策を打たないとダメなのではないか。
 - ③ その対策として、町の経済の循環のために住宅リフォーム助成制度の設立を。
 - ④ 消費税増税は中小企業者を圧迫すると思うが、どう考えているか。
- (3) 子どもの出生が落ち込んでいる実態がある。
 - ① この実態の現状をどう考えるか。
 - ② 子どもを産み、育てやすい環境をつくるための対策を打つべきではないか。
 - ③ 中学3年生までの医療費の無料化と月1,000円負担の撤廃を。
 - ④ 全校区に学童保育所の設置を。
- (4) 可燃ごみ量が増え、リサイクルなどの量は減っている実態がある。
 - ① この実態は総合計画に反しているようだが、どのように考えるか。
 - ② 可燃ごみ減量化に向けての対策は。
 - ③ 環境センターは民営化にしようとしているが、メリットはあるのか。ごみ減量化は進むのか。
- (5) よしみねパークゴルフ場拡張について
 - ① 今までの答弁は後ろ向きだったが、なぜ今拡張を目指すのか。その目的は。
 - ② 町民の健康を守るという意味で、拡張後は町民の利用料金を下げるべきでないか。
- (6) 奨学金について
 - ① 学生生活の実態は、経済的に大変切実であるという認識はあるか。
 - ② 今の利子補給ではなく、元の給付に戻すべきではないか。
- (7) 青少年ホーム有料化はなぜ行うのか。青少年以外に有料化するのはわかるが、青少年の健全育成に反するのではないか。
- (8) 武道館改築に関して、建設地は中央体育センターの敷地内だが、駐車場が手狭にならないか。

2 TPP参加表明を受けて

- (1) 懸念を表明されていた町長はこのことをどう思ったか。
- (2) 国の形を壊すTPPに対して、再度反対表明をすべきではないか。

3 生活保護基準引き下げに関して

- (1) 就学援助を受ける要保護者や準要保護者という現在の基準は維持すべきではないか。
- (2) 介護保険料の段階区分や保育料の免除に関わる階層区分への影響はあるのか。

4番 米田俊信 議員

1 町長に問う

- (1) 国・県と連携し、PM2.5など降下物にかかる的確な情報収集を行い、町民に素早く周知すべきではないか。どのような対応を考えているのか。
- (2) 県の新年度予算に立山高原での観光バス排ガス影響調査が計上された。これまでの経緯もあり、調査実施にあたり町として積極的に意見を述べるべきではないか。
- (3) 立山有毒ガスの専門委員会において、今後どのような対策をどのように取り組むのか。また、町避難マニュアル作成の進捗状況はどうか。

2 経済対策、補正予算に関連して

- (1) 工事発注が一時期に集中しないようバランスを考えるとともに、書類の簡素化、現場代理人の要件など発注に工夫ができないか検討すべきでないか。
- (2) 富山立山公園線の4車線化の工事箇所付けが決定したが、具体的な工事内容と工事時期について伺う。
- (3) 利田公民館付近の八幡川東側農道を、利用実態に即し拡幅を行い、町道として認定すべきでないか。

3 教育関係等について

- (1) 県下で行われている体罰調査の内容とその感想、体罰の有無についてどのように認識しているか。
- (2) 忠魂碑の取り扱いについて
 - ① 忠魂碑建立の意義などを子供たちに正確に伝えるべきではないか。事実を正しく認識し、恒久平和を進める意味からも大切と考えるが。
 - ② 石碑の保存継承は、歴史文化の面からも重要。町として保存活動を支援すべきではないか。

4 統計調査関係に問う

統計数値は町財政支出や施設整備の算定基礎となる重要なものであるが、どのように利用されているのか。また、新年度はどのような調査が実施されるのか。その対応は。

5番 窪田一誠 議員

1 武道センターについて

国の経済対策・社会体育施設整備事業で、武道センター建設費5億3,092万円が計上されているが、

- (1) 場所・施設規模・完成予定を問う。
- (2) 委員謝礼とあるが各競技の専門知識者の意見を聞き設計されるのか。
- (3) 柔道・剣道の競技面、何面計画しているのか。
- (4) 観客の配慮を考え電動収納型の観客席を考えられないか。
- (5) 柔剣道で、大きな大会の会場とする時は最低4面の広さが必要である。そのための備品を整備する必要があると思うが対応は。
- (6) 男子・女子を問わず、普段の使用時や大きな大会の会場とする時には、更衣室が必要と思うが。 町長の基本的な考え方を問う。

2 防犯灯等のLED化について

調査委託費800万円が計上されているが、

- (1) 地域の実情に配慮した対応をすべきである。
- (2) LED化採択の見通しは。
- (3) その推進に当たっての経費負担等について 町長の基本的な考え方を問う。

3 農村整備対策事業について

吉峰パークゴルフ場整備事業で測量設計委託料750万円が計上されているが、

- (1) 具体的な場所はどこか。
- (2) 全日本パークゴルフ協会公認ゴルフ場として、36ホールの設計でなければならないと思うが。
- (3) 管理棟が必要と思うが。
- (4) 工事はいつごろ実施されるのか。
- (5) 完成後の管理運営は町直営か委託になるのか。
- (6) 料金体系はどのように考えているのか。 町長の基本的な考え方を問う。

4 使用済み小型家電リサイクル制度について

「使用済み小型家電のリサイクル制度」に対して、環境省は詳しい内容を発表した。使用済み小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が4月1日から始まる。市町村の対応は、1.その分別収集、回収した小型電子機器等の認定業者へ引き渡し、2.住民に対する周知、環境の整備、これらに関する環境教育、普及啓発を図ることなどが求められる。

現在、この新制度に加わるかの各市町村判断は自由であるが、厳しい環境美化条例制定の町として、将来取り組むべきと思うが町長の基本的な考え方を問う。

5 通学路・通所路の安全について

- (1) 町道ニツ塚～辻線は、近年県道昇格を町の重要要望事項として、富山県へ要望されているが、この道路は昭和45年頃に完成し、歩道のガードレールや側溝蓋の耐久性強度も低下し、見るも哀れな状態である。富立大橋の完成後、交通量も極端に増加し、児童・生徒・通学・通勤者の安全につながる歩道の修繕、整備の着手を図れないか。
- (2) 稚児塚2号線の拡張工事に伴い、中学生・高校生の通学・通勤者の利便を図るため、富山地方鉄道立山線の稚児塚駅や田添駅に駐輪場の設置を図れないか。
- (3) 町道浦田～辻線は、新川保育所に通所する幼児や立山北部小学校の通学路で、寺田川に架かる橋梁は極端に狭く、車が対面通行できないため、橋梁での通行が危険である。新川地区全体の要望事項であるが、事故が起きてからでは遅いので、1日も早く拡幅を図れないか。 町長の基本的な考え方を問う。

6番 町田信子 議員

1 教育について

- (1) 町政や議会を身近に感じてもらうためにも、「子ども議会」を開催する考えはないか。
- (2) いじめ問題は後をたたないが、教育長の見解はどうか。
- (3) スクールカウンセラーにさまざまな相談が寄せられるようになり、いじめ相談に時間を割り当てるのが難しくなっていると聞くが、教育長の考えはどうか。
- (4) 全国の小中学校の児童生徒に「子どもの人権SOSミニレター」が配布され、相談電話を設けていると聞くがその活用はどうか。
- (5) 県内の市町村教育長会議での体罰調査の方法については、どんな内容だったのか。
- (6) 体罰に対して、教職員はどうあるべきか。また、教育長はどのような考えを持っているのか。

2 福祉について

- (1) うつ病の早期発見とその対応策は。
- (2) メンタルヘルスチェックシステム測定器を導入する考えはないか。

3 PM2.5対策の推進について

- (1) 県、町の監視体制の強化を。
- (2) 呼吸器や循環器に持病のある人、子どもや高齢者を守るための対策を。
- (3) 当面のPM2.5対策を推進するために、なにか対応を考えているか。

4 高齢者支援対策について

国保高齢者受給者証をカード化（コンパクト）する考えはないか。

7番 伊東幸一 議員

1 町内企業の景気動向等について

- (1) 最近の景気・雇用状況、また、今後の動向についてどのようにとらえているのか。
- (2) 国、県の経済対策に応じ、メリハリのきいた施策を迅速的確に講じるべきと思うが、町長の考えはどうか。

2 企業誘致について

トップセールスに大きな期待をしている。新しい動き等を含め、町長の意気込みを問う。

3 地域における雇用創造事業について

事業構想採択に向け努力してほしい。この構想の概要と採択された場合の効果、今後のスケジュール等について問う。

4 地域振興について

旧東谷保育所を常駐者配置や里山事業の事務局的功能を有する、地域振興の拠点施設として整備することが必要と考えるが見解を問う。

5 放置自転車条例の成果について

放置自転車の回収や引き取りの状況、また、その後の駅周辺の状況はどうか。今後も、厳格な条例の運用が必要と思うが。

6 ゴミ屋敷対策について

町として、毅然とした対応をすべきだ。条例改正の趣旨と今後どのように運用し、どのような対策を講じるのか問う。

